

---

# 政府の陰謀に巻き込まれた男

結城陸空

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

政府の陰謀に巻き込まれた男

### 【Nコード】

N9379A

### 【作者名】

結城陸空

### 【あらすじ】

俺は、政府のある秘密を知ってしまった。その為、俺は政府から命を狙われることとなった。

俺は、政府のある秘密を知ってしまった。

その為に、俺は政府から命を狙われることとなった。

朝。

俺は目を開ける。朝の太陽が清々しい。政府から命を狙われているなんて忘れられる瞬間だ。俺は時間を確認しようと時計を見た。

10:16分。

俺はその時間を見て驚愕した。今日は平日、学校も普通にある。なのにこの時間はなんなんだ？

「こ……これはまさか……、政府の陰謀!!」

そうか……読めたぞ奴らの考えが。

政府の秘密を知った俺の命を抹殺するために、まず目覚まし時計のベルを止め、学校に遅刻をさせて成績を悪くさせ、大学への進学を不可能とし、拳銃にさ迷う事になった俺は食料もなく餓死する……。

な、なんてことだ……。奴ら、俺をそうまでして抹殺したいのか！

だが……。俺はその作戦を見抜いたっ！出し抜いたぞっ！

例え、遅刻しようとも学校に行つてやる！！奴らの思い通りにはならん！！

意気込んだものの、朝起きたばかりでお腹が空いている。とりあえず軽くパンでも食べることにした。

パンは台所に置いてあった。母親が用意したのだろう。俺はパンの袋をあけ冷蔵庫からバターを取り出した。

そしてスプーンを使ってパンに塗ろうとした。

……いや、待て！

「こ……これはまさか……、政府の陰謀！！」

そうか……読めたぞ奴らの考えが。

俺を抹殺するために、パンかバターに毒を盛り、その毒を食べた俺は死ぬということか……。なるほど、朝起きたらパンを食べるという俺の習慣を利用したわけだ……。

だが……。俺はその作戦を見抜いたっ！出し抜いたぞっ！

例え、お腹が空いていても我慢してやる！！奴らの思い通りにはならん！！

俺は、パンとバターをゴミ箱に捨て、空腹のまま家を出た。すでに時間は１１時前だ。急がなくては。

……待て！

「こ……これはまさか……、政府の陰謀!!」

そうか……読めたぞ奴らの考えが。

俺を殺すために学校までの道のりを走らせ、心肺機能が弱ったところに追い討ちをかけるつもりだな。危なかったぜ。

だが……。俺はその作戦を見抜いたっ! 出し抜いたぞっ!

例え、歩いていくと一時間はかかる道のりでも歩いて行つてやる! 奴らの思い通りにはならん!!

そして俺はようやく学校についた。

学校の正面には門がついている。今の時間は門が閉まっているので乗り越えなくてはならない。俺はその門に登ろうとした。

待て!!

「こ……これはまさか……、政府の陰謀!!」

そうか……読めたぞ奴らの考えが。

俺を抹殺するために、学校の門を閉めそれを登らせ、登ったところで後ろから押され俺は地面にまっ逆さま。そして首の骨を折り死に到る。考えてやがるな。

だが……!! 俺はその作戦を見抜いたっ! 出し抜いたぞっ!

例え、門に登れなくて学校に入れなくても、俺は待つ!! 門が開くのを!! 奴らの思いどおりにはならん!!

そして、俺は門が開くのを待つことにした。

門が開いたのは下校時だった。

なんてことだ。学校を休んでしまった。くそっ、俺は結局政府の陰謀にやられてしまったわけだ。

奴らがここまで計算しているとは……。

こうして、俺は家路に着いた。

夜……、俺は眠りに着こうとする。布団に入り、今日もなんとか生き延びたことに感謝し、いつの間にか眠っていた。

朝……、俺は目を開ける。朝の太陽が清々しい。政府から命を狙われているなんて忘れられる瞬間だ。俺は時間を確認しようと時計を見た。

12:39分。

「こ……これはまさか……、政府の陰謀!!」

こうして今日もまた彼の命が狙われる日々が続く。

完



（後書き）

読んでいただきありがとうございます。

オチでないという突っ込みもビシバシ受けます。オチでないのは分かっています。すいません

続くかもしれせん

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9379a/>

---

政府の陰謀に巻き込まれた男

2010年11月26日06時34分発行